

福島県 工業クラブ 会報

令和8年3月



会報の発刊によせて

福島県工業クラブ会長 **相馬 克良**

(福島キヤノン株式会社 代表取締役社長)

会員企業の皆様におかれましては、令和8年度を迎えるに当たり、志を新たに社業発展に邁進のことと拝察いたします。新年度が皆様にとって実り多い年でありますことを心より御祈念申し上げます。

さて、本会におきましては、令和元年以来6年ぶりにいわき市内の会場にて総会・講演会及び懇談会を開催することができました。各方部で開催することで、県内会員企業との交流の機会を確保し、情報交換の場としていければと強く感じたところであります。

さらには、昨年に引き続き、今年度も県外企業へ視察に赴くことができ、視察企業における製造工程や社内安全教育、地域社会とのコミュニケーションの手法等を見聞きする事で、多くの気付きを得ることができることから自社だけではなかなか経験できない本会の活動の重要性を改めて感じたところであります。

また、製造業だけではなく、物価高騰や人材不足への対応など、どの企業にとっても共通の、また個々の企業だけでは解決が困難な課題が山積しております。本会の活動は、これらの問題の解決に向けたヒントを得る機会となるものと考えており、今後も効果的な活動を展開して参りますので、本会の活動へ積極的な参加をお願いいたします。

結びに、会員企業の益々の御隆盛を御祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

CONTENTS

福島県工業クラブ会長あいさつ……	1	第71回福島県発明展表彰 ……	7
通常総会……	2	新年研修会……	8
令和7年・8年度新役員紹介 ……	3	会員企業紹介……	9
会員企業一覧……	4	新規会員紹介……	12
視察研修事業……	5		

通常総会・講演会・懇談会

開催日 ▶ 令和7年7月4日(金)

場 所 ▶ グランパークホテル パネックスいわき(いわき市)

通常総会

講演会

演題：「伝統産業の再起動」～素材開発と産業連携の未来構想～

講師：會澤高圧コンクリート株式会社 取締役副社長 青木 涼 氏

懇談会

令和7年7月4日(金)、いわき市の「グランパークホテル パネックスいわき」において、令和7年度福島県工業クラブ通常総会を開催しました。

総会では、令和6年度事業報告及び収支決算報告、令和7年度事業計画及び収支予算並びに役員の大改選について審議の上、承認をいただきました。

なお、令和8年度の通常総会は7月ごろの開催を予定しております。開催地・開催日時等については決まり次第御案内いたします。

講演会では、「伝統産業の再起動」と題し、會澤高圧コンクリート株式会社取締役副社長の青木 涼様から御講演をいただきました。令和5年6月に操業開始した「福島RDMセンター(浪江町)」の意義や、創業から90年の歴史を誇るコンクリート産業の老舗として、福島から伝統産業を再起動し、100年先まで地域と共に成長し続ける持続可能な企業を目指していくといった内容の御講演いただき、会員企業にとって実りある時間となりました。

引き続き開催された懇談会では、和やかな雰囲気の中で御相談いただき、会員相互の情報交換を行いました。



通常総会



講演会



講演会



懇談会

令和7年・8年度新役員紹介

No.	役職名	会 社 名	会社役職名	氏 名 (R7.7.4 現在)
1	会 長 (理事)	福島キャノン(株)	代表取締役社長	相 馬 克 良
2	副会長 (理事)	日東紡績(株) 福島事業センター	センター長	寒 竹 大 輔
3	〃	保土谷化学工業(株) 郡山工場	執行役員郡山工場長	武 居 厚 志
4	〃	(株)クレハ生産・技術本部 いわき事業所	事業所長	影 山 晴 康
5	理 事	北芝電機(株)	取締役社長	安 藤 秀 泰
6	〃	協三工業(株)	代表取締役社長	加 藤 守
7	〃	福島製鋼(株)	代表取締役社長	登 坂 明 弘
8	〃	(株)福島製作所	代表取締役社長	太 田 光 一
9	〃	富士通アイソテック(株)	代表取締役社長	齋 藤 健 夫
10	〃	日東紡績(株) 富久山事業センター	センター長	五十嵐 和 彦
11	〃	住友ゴム工業(株) 白河工場	工場長	大 平 准 司
12	〃	大内新興化学工業(株) 原町工場	理事工場長	佐 藤 丈 倫
13	〃	(株)菊池製作所 福島工場	営業部長	大和田 勝 浩
14	〃	クリナップ(株) いわき事業所	取締役	山 田 雅 二
15	監 事	福島サンケン(株)	代表取締役社長	菅 野 伸 明
16	〃	(株)IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 相馬事業所	相馬事業所長	宮 田 真

会員企業一覧

令和8年3月1日現在

No.	会 社 名	役職	地区
1	曙ブレーキ福島製造(株)		県北
2	(株)IHI物流産業システム 生産・調達センター 本宮工場		
3	NOK(株) 福島事業場		
4	北芝電機(株)	理 事	
5	協三工業(株)	理 事	
6	マレリ福島(株)		
7	トーアエイヨー(株) 福島工場		
8	日東紡績(株) 福島事業センター	副会長	
9	福島ガス(株)		
10	福島キヤノン(株)	会 長	
11	福島ゴム(株)		
12	福島サンケン(株)	監 事	
13	(株)福島芝浦電子		
14	福島製鋼(株)	理 事	
15	(株)福島製作所	理 事	
16	富士通アイソテック(株)	理 事	
17	ムネカタインダストリアルマシナリー(株)		
18	(株)彌満和製作所		
19	NECプラットフォームズ(株) 福島事業所		
20	アサヒビール(株) 福島工場		
21	(株)東邦銀行		
22	NITTOKU(株) 福島事業所		
23	大内新興化学工業(株) 須賀川工場		県中
24	三進金属工業(株) 福島工場		
25	日東紡績(株) 富久山事業センター	理 事	
26	新日本電工(株) 郡山工場		
27	(株)東京精密 古殿工場		
28	保土谷化学工業(株) 郡山工場	副会長	
29	東成イービー東北(株)		
30	大和ハウス工業(株) 福島支社		
31	(株)小松製作所 郡山工場		
32	東北住電精密(株)		
33	(株)デンソー福島		
34	日本化学工業(株) 福島第一工場		
35	日本化学工業(株) 福島第二工場		

No.	会 社 名	役職	地区
36	白河オリンパス(株)		県南
37	住友ゴム工業(株) 白河工場	理 事	
38	(株)ティーアンドエムホールディングス 白河ワークス		
39	信越半導体(株) 白河工場		
40	(株)フジ機工		
41	EAファーマ(株) 福島事業所		会津
42	会津オリンパス(株)		
43	(株)あいづダストセンター		
44	(株)シグマ 会津工場		相双
45	(株)ADEKA 相馬工場		
46	大内新興化学工業(株) 原町工場	理 事	
47	(株)IHI航空・宇宙・防衛事業領域 相馬事業所	監 事	
48	(株)菊池製作所 福島工場	理 事	
49	藤倉コンポジット(株) 原町工場		
50	浅野燃糸(株) 双葉事業所		いわき
51	いわき大王製紙(株)		
52	小名浜石油埠頭(株)		
53	小名浜吉野石膏(株) いわき工場		
54	クリナップ(株) いわき事業所	理 事	
55	(株)クレハ いわき事業所	副会長	
56	第一三共(株) 小名浜工場		
57	常磐共同火力(株) 勿来発電所		
58	(株)日本海水 小名浜工場		
59	鶴見鋼管(株)		
60	(株)勿来製作所		
61	日産自動車(株) いわき工場		
62	三菱ケミカル(株) 小名浜工場		
63	日本製紙(株) 勿来工場		
64	古河電池(株) いわき事業所		
65	小名浜製錬(株) 小名浜製錬所		
66	インターナショナル ケミカル エンティティ ジャパン(株)		
67	堺化学工業(株) 小名浜事業所		
68	相互薬工(株) いわき工場		
69	東洋システム(株)		

視察研修事業

工業クラブでは、国内外の地域開発状況や産業支援施策の先進地域、高度な産業技術を有する企業等を視察調査することにより、本県産業開発の推進と当クラブにおける今後の事業活動の参考にすることを目的に、毎年視察研修事業を実施しています。

今年度の視察研修は、会員の皆さまへのアンケート結果を踏まえ、今年度の視察テーマとして一番希望の多かった『先進的な生産プロセス・技術（DX含む）の導入事例』をメインテーマとし、九州地方の企業3社を選定し、令和7年10月5日（日）～7日（火）の日程で実施しました。

視察研修1日目

10月6日（月）

三菱ケミカル（株）九州事業所（黒崎工場）

所在地 福岡県北九州市

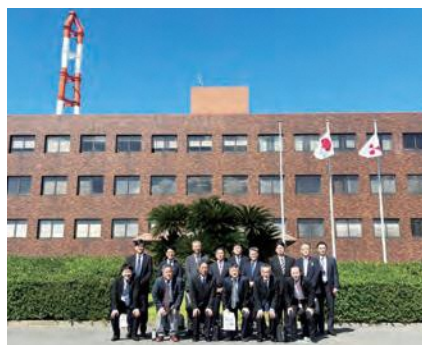
事業内容 バイオポリカーボネート樹脂、カーボンブラック等を製造

視察研修1日目の午前は三菱ケミカル株式会社様の九州事業所（黒崎工場）を視察しました。

九州事業所は、1935年に北九州市で操業を開始し、操業開始当時は、コークス、染料を始めとする少品種・多量生産型の「バルクケミカル」製品を主力とし、日本の高度経済成長を支えました。

その後、社会の変化やニーズにあわせて事業を展開し、現在では多品種・少量生産型の「ファインケミカル」製品を主力とする事業所へと成長しました。

同社の視察においては、みずほPayPayドーム福岡の約22個分に相当する約186万平方メートルの敷地内の視察に加え、労働安全衛生の分野で実際に墜落や巻き込まれなどの事故をバーチャルで体験することができるVR機器体感教育システムによる労働災害の防止に務めているところや、地域住民に対する事業所イベントへの招待やグラウンドを開放するなど、地域社会とのコミュニケーションを日頃から推進していること等を視察させていただきました。



三菱ケミカル（株）九州事業所（黒崎工場）



VR機器体感教育システム体験



ロール挟まれ体験機

(株) 安川電機・ロボット村・安川電機みらい館

所在地 ▶ 福岡県北九州市

事業内容 ▶ モーションコントロール(サーボモータ、インバータ)、産業用ロボット等を製造

視察研修1日目の午後は、創立100年を記念して2015年の6月にロボット村としてオープンした株式会社安川電機様を訪問し、安川電機みらい館等を視察しました。

同社は、1915年に北九州市で創業し、「電動機(モータ)とその応用」を事業領域に定め、鉄鋼プラント向けやセメント用途向けなど社会インフラを支える技術・製品を開発してきました。

1997年には、国内初の全電気式産業用ロボット「MOTOMAN-L10」を開発し、それ以来、様々な産業用ロボットを開発し、国内外の産業の先端産業を支えてきました。

同社の視察においては、安川電機のソリューションコンセプトである「i3-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」の仕組みの説明に加え、安川電機が培ってきたメカトロニクスの技術を体感できる安川電機みらい館や実際に産業用ロボットを生産しているロボットの工場を視察させていただきました。



創立100周年記念モニュメント



モートマン1号機の視察



全自動によるミニカー製造視察

本田技研工業(株)熊本製作所

所在地 ▶ 熊本県菊池郡大津町

事業内容 ▶ 二輪車、パワープロダクツの製造

視察研修2日目は、ホンダで4番目の製作所とされる本田技研工業株式会社様の熊本製作所を視察しました。

熊本製作所は、1976年に操業を開始し、世界最多量産のオートバイであるスーパーカブシリーズの生産は、1991年に始まりました。東京ドーム約36個分に相当する約165万1千平方メートルの広大な

敷地は、ホンダの製作所のなかで最も広い敷地であり、国内ではHondaの二輪車を生産する唯一の生産拠点として数多くの二輪車、パワープロダクツ等を量産しています。

また、エンジンや各部品の生産加工から、完成車の組み立てまで一貫して行われる効率の高い生産システムによる多機種の製品を生産しております。

同社の視察においては、実際に二輪車やパワープロダクツの生産工程を視察させていただきました。



本田技研工業(株) 熊本製作所



二輪車・パワープロダクツの歴史



ホンダ製バイクの展示



本田技研工業(ホンダ)の創業者名言

視察研修後のアンケート結果からも視察研修に参加いただいたクラブ会員にとって多くの気づきや学びがありました。

第71回福島県発明展表彰

日常生活や産業技術から生まれた、創造性に富む優れた発明・考案・意匠の作品を一堂に展示し、科学技術の振興と産業の発展に寄与することを目的とした「第71回福島県発明展」(主催: 福島県、一般社団法人福島県発明協会)が、令和7年11月1日(土)～3日(月)に郡山市労働福祉会館にて開催されました。

当クラブでは、優れた発明に対し「福島県工業クラブ会長賞」を毎年授与しています。

今回は、会津若松市の佐原 健司 氏が発明した「Beco」が受賞し、11月24日(月)に行われた表彰式では、当クラブ副会長であります保土谷化学工業株式会社の武居執行役員郡山工場長より賞状と副賞の記念盾が贈呈されました。



武居副会長による賞状の贈呈



福島県工業クラブ会長賞受賞作品

新年研修会

日時 ▶ 令和8年1月27日(火) 16:00～19:30

場所 ▶ ホテルサンキョウ福島

講師 ▶ 日本銀行 福島支店長 森下 謙太郎 様

演題 ▶ 「最近の金融経済情勢について」

講師には、日本銀行福島支店長の森下 謙太郎様をお迎えし、「最近の金融経済情勢について」と題して御講演をいただきました。日本経済・物価情勢とその展望を踏まえ、福島県の金融経済動向についてご説明いただいた後、森下様の経験を踏まえた福島県のさらなる発展に向けた展望など様々なお話をいただき、会員企業様の皆様にとって有意義な時間となりました。

講演会後は、福島県副知事の佐藤 宏隆様を来賓に招き、講師の森下 謙太郎様も交えて懇親会を開催しました。終始、和やかな雰囲気でご歓談いただき、会員相互の交流を深めました。



相馬会長挨拶



講師の森下謙太郎氏



懇親会の様子



佐藤副知事との懇親会

会員企業紹介

株式会社IHI航空・宇宙・防衛事業領域 相馬事業所

代表者 事業所長 宮田 真

所在地 福島県相馬市大野台1-2-1

主な事業 航空エンジン部品、ガスタービン部品、宇宙機器の製造



(株)IHI航空・宇宙・防衛事業領域では、航空エンジン部品、ガスタービン部品、宇宙機器の製造などを手がけています。航空エンジンのリーディングカンパニーとして空の交通を支え、宇宙開発分野ではロケットエンジンの心臓部「ターボポンプ」などの開発・製造を行っています。

相馬事業所は1998年に開設され、多種多様な部品を防衛省や海外のOEM(ゼネラル・エレクトリック等)向けに供給しています。20年後には世界全体で、現在の約2倍の航空機が必要になるといわれており、新素材を用いてエンジンの大幅な軽量化・低騒音化を実現することで、環境負荷の軽減に貢献しています。

また、当社は2050年のカーボンニュートラル達成を目指しております。相馬事業所では敷地内の駐車場に国内最大級となるソーラーカーポートを自社設備として設置し、再生可能エネルギー由来の電力への転換とCO₂排出量削減を図り、持続可能な社会の実現に貢献しています。



航空エンジン (PW1100G-JM)

出典：JAEC



導入したソーラーカーポート

株式会社IHI物流産業システム 生産・調達センター 本宮工場

代表者 工場長 及川 明夫

所在地 福島県本宮市荒井字恵向60-10

主な事業 物流機器、FA機器ならびに産業機械の製造



(株)IHI物流産業システムは、170年の歴史を持つIHIグループの中で産業システム・汎用機械事業領域の一員として自動倉庫を中心とした物流機器、FA機器ならびに産業機械に関する販売、設計、製作、調達、建設、据付工事、改造修理ならびに機器、部品の整備およびメンテナンスサービスを行っています。

本宮工場は、1945年より本宮市で主に産業機械の生産に携わって参りました。その経験をもとに、中型精密機械を中心に、加工・組立・運転のマザー工場として、グローバル展開の一翼を担っています。

物流は、昨今の人手不足や生産性向上の課題に直接的に貢献できる重要な社会インフラです。私たちはこうした社会のニーズに応えてお客さまの課題を解決していくソリューションプロバイダーを目指し、これまでの効率化に加えてDXやAIを活用した省人化や自動化の実現によって、社会やお客さまの価値向上を最優先にした製品とサービスを提供していきます。

安心安全で豊かな暮らしを守っていく会社、人にも社会にも環境にもやさしいソリューションを提供する会社、従業員にとっても社会貢献と働き甲斐を感じられる会社を追求しています。



曙ブレーキ福島製造株式会社

代表者 代表取締役社長 遠藤 義就

所在地 福島県伊達郡桑折町大字成田字新宿10

主な事業 自動車や産業機械・鉄道用ブレーキ摩擦材製造



曙ブレーキ福島製造(株)は、1971年4月に曙ブレーキ工業(株)福島製造所として創業を開始し、ブレーキライニングの製造を開始しました。2001年4月に曙ブレーキ福島製造(株)として分社・独立し創業54年目となります。主に自動車、トラック、新幹線、在来線、エレベーター、エアコン用クラッチフェーシングといったあらゆる分野の領域でブレーキ用摩擦材を製造している会社となります。

また、独立系のブレーキメーカーとして、数多くのお客様とお取引をしています。

SQDCE*向上活動

2019年度から取り組んでいる、安全と品質を確保しながら納期厳守や原価低減に向けて活動するSQDC活動に、2022年度から「E:環境」を追加してSQDC+E向上活動とし、SDGsやカーボンニュートラルなどの環境面の活動にも力を入れています。曙ブレーキグループの各製造拠点では5ゲン主義に基づき、「C:コスト」につなげる活動のひとつとしてフォロー会を毎月行い、現場からの困りごとを中心とした改善を進めています。フォロー会には生産以外の他部門社員も参加し、困りごとを共有、生産部門だけでは解決しない案件を協力して進めることにより全社での改善活動となっています。一連のプロセスを通して問題解決ができ、また、ボトムアップで業務を遂行できる人材を育成することも活動の狙いのひとつです。

* S:Safety 安全、 Q:Quality 品質、 D:Delivery 納期、 C:Cost コスト、 E:Environment 環境



新幹線用等面圧ディスク
ブレーキライニング

株式会社ADEKA 相馬工場

代表者 相馬工場長 相川 雅司

所在地 福島県相馬市光陽一丁目1番地1

主な事業 エンジンオイル用潤滑油添加剤「アデカサクラール」の製造



株式会社ADEKAは1917年に創業され、本社を東京都荒川区に構える老舗“素財”メーカーです。化学品や食品、ライフサイエンスをコアビジネスに、幅広い市場で価値ある素財を提供しており、国内事業所17拠点、海外21カ国57拠点で展開しています。

相馬工場で生産している環境貢献製品「アデカサクラール」は、エンジン内部の摩擦や摩耗を減らすことで省燃費やCO₂排出量削減を実現しています。

この製品は、日本国内で新車への採用率100%を達成し、海外20カ国以上にも輸出されています。

ADEKAグループは、社会の一員としての基本的責務を果たしつつ、“素財”メーカーとしての価値提供を通じて、持続可能な社会への貢献、ひいては自らの持続的な成長を目指しています。

当社は地域に根差した企業として地域社会に貢献するとともに、GHG排出量削減など地球環境の保全にも力を入れています。生産工程の効率化や製品統廃合に加え、相馬工場では2025年9月にA重油からLNGへ燃料転換を実施しました。2050年のカーボンニュートラル達成を目指します。



潤滑油添加剤

NECプラットフォームズ株式会社 福島事業所

代表者 工場長 阿瀬 全英

所在地 福島県福島市清水町字一本松1-1

主な事業 通信機器および電子機器の開発、製造、保守

NEC NECプラットフォームズ株式会社

NECプラットフォームズ株式会社は、NECグループの中核企業として、通信・ネットワーク機器をはじめとするICTプラットフォームの企画・設計から製造、販売、保守までを一貫して担っています。長年にわたり培ってきた技術力と現場力を強みに、高い品質と信頼性が求められる社会インフラや企業活動を支えてきました。近年はDXの推進や環境配慮型のものづくりにも注力し、安全・安心で持続可能な社会の実現に向け、国内各拠点が連携した価値創出に取り組んでいます。

福島事業所では、NECプラットフォームズの主要生産拠点の一つとして、人々の暮らしを支える無線基地局装置、放送映像機器、消防救急デジタル無線装置や宇宙事業を支える衛星搭載機器の製造を担っています。これらの高い品質が求められる製品を安定的に供給するため、現場主導の改善活動や生産性向上に継続して取り組み、その成果が評価され「GOOD FACTORY 賞（ファクトリマネジメント賞）」を受賞しました。また、省エネルギー化やCO₂排出削減など環境負荷低減の取り組みが「ゼロカーボンニュートラルアワード」に認められています。今後も培ってきた技術力と現場力をさらに磨き上げ、環境と調和したものづくりを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



福島事業所

大内新興化学工業株式会社 須賀川工場

代表者 取締役工場長 大塚 裕昭

所在地 福島県須賀川市下宿前111

主な事業 有機ゴム薬品、医薬品原薬、果樹用抗菌剤、環境薬剤他製造



当社は1931年に有機ゴム薬品の初の国産化に成功して以来、ゴム業界に確固たる地位を築き、その技術を応用して農薬、医薬品等の分野に事業を拡大してきた化学メーカーです。二硫化炭素を原料に用いた有機硫黄化合物の合成を得意としております。

須賀川工場は1945年に操業開始。自動車部品、タイヤ、スポーツ用品等に使用される有機ゴム薬品、果樹用抗菌剤、ゴミ焼却場で使用される重金属固定剤、成人病の治療薬等、私たちの生活に欠くことの出来ない製品に使用される化学薬品を製造しており幅広い産業を支えております。同じ敷地内にあります開発研究所では、有機ゴム薬品などで長年培ってきた合成・製造技術を基に、ラボ、パイロットスケールから実生産までの研究開発を一貫して行い、お客様のニーズに真摯に対応した商品開発を行っております。

当社は確かな技術力に裏付けされた信頼される製品を安定的に供給することは勿論ですが、安全、健康、環境にも配慮した生産活動を行っております。特に地球と人類の持続可能な未来、そして当社の持続的な成長のために、再生可能エネルギー使用への転換、省エネルギーの促進等脱炭素化社会を目指した取り組みを進めています。



果樹用抗菌剤



有機ゴム薬品

新規会員紹介

NITTOKU株式会社 福島事業所



代表者 取締役 常務執行役員 鹿目 守夫

所在地 福島県福島市飯野町明治字鹿ノ子島17-3

主な事業 巻線機、巻取り・繰出し機器及びその周辺機器の開発、製造、販売、サービス

NITTOKU株式会社は、1972年に設立され、創立54年目を迎える精密機械メーカーです。

本社は埼玉県さいたま市大宮区にあり、国内には 福島事業所・長崎事業所・愛媛事業所の3つの主要製造拠点を構えています。さらに、海外にも4つの製造拠点と10カ所の営業拠点を展開し、グローバルな生産・販売体制を整えています。同社は、自動巻線機(コイル巻線機)分野で世界トップシェアを誇っており、スマートフォン、自動車(特にEV)、家電、半導体など、モーターやコイルを必要とする幅広い製品の“ものづくり”を支える存在として、世界中で活躍しています。

2025年3月時点の従業員数は511名(連結:1,229名)と、グローバル企業として確かな規模を有しています。

当社の技術力の本質は「精密巻線技術 × 総合FA技術 × 顧客課題解決力」です。

- ① 世界をリードする巻き線技術
- ② 6つの“要素技術”による圧倒的なコア技術
- ③ 「スピード・省スペース・省エネ」を追求した開発・設計思想
- ④ 顧客の生産技術を代行するソリューション型企業
- ⑤ “製造業は創造業”というモノづくり哲学
- ⑥ 一貫生産体制

(顧客要求のヒアリングからアフターサービスまで自社完結)

これらの力の組み合わせと擦り合わせが、NITTOKUが世界のモノづくりを支える唯一無二の存在価値、必要価値を生み出すことを目指しています。



編集後記

寒さも徐々に和らぎ、春の気配が感じられるようになってきました。

この一年間、会員の皆様の御協力により、令和7年度も各種事業を無事に開催することができました。改めて感謝を申し上げます。

事務局一同、当クラブの円滑な運営に努めてまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新規会員募集

工業クラブでは随時会員の募集を行っております。当クラブの趣旨に賛同し、入会を希望される企業にお心当たりがある場合、下記事務局まで御紹介いただければ幸いです。

編集発行／福島県工業クラブ事務局 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 福島県商工労働部企業立地課内
TEL (024) 521-7882 FAX (024) 521-7935 E-mail kougyou-k@pref.fukushima.lg.jp
発行／令和8年3月